

調査研究報告書の要約

分類・テーマ別	B・3		分類・業種別	8・1	
書名	平成 15 年度外国機械工業の対中進出実態調査				
発行機関名	社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	H16(2004)	頁数	414 頁	識別	15 駐 - 4

[目次]

- 1 章 はじめに
 - ・ 本調査の目的および分析方法
 - ・ 関税コードをもとにした 28 分類
 - ・ 外国企業による対中投資の概況
- 2 章 外国企業による対中投資の状況
 - ・ 外国機械メーカーによる対中投資の総体状況
 - ・ 外国企業対中投資の業界別状況
- 3 章 中国の機械製品、関連製品及び部品の輸出状況
 - ・ 本章の調査目的と結果総括
 - ・ 28 分野ごとの輸出状況

[要約]

本調査の目的は、機械産業を 28 の分野に分類し、分野毎に「欧米機械メーカー」および「日本機械メーカー」の中国における投資、輸出状況を比較調査して、両者の対中投資戦略の相違点を把握することであった。

(1) 外国企業による対中投資の概況

- ・ 日本企業が対中投資において優位性を持っている業界
ボイラー及び原動機製造業、金属加工機械製造業、金属加工機械製造業、ハイドロ及び空気圧動力機械製造業、建築機械製造業、木材工業専用設備製造業、食品・飲料・タバコ工業専用設備製造業、印刷工業専用設備製造業、プラスチック工業専用設備製造業、電子工業専用設備製造業、電機製造業、スイッチ制御設備製造業、光学機器製造業、汎用機器・計測器製造業、文化・事務用機械製造業、ロボット製造業、液晶パネル（液晶ディスプレイ）製造業に関しては、日本の累積投資総額は、欧米 4 国（米国、英国、ドイツ、フランス）投資額の総和を上回っている。
- ・ 欧米企業が対中投資において優位性を持っている業界
米国のトラクター製造業への投資は優位性を持っており、日本企業の 40 倍である。また、通信設備製造業は日本の 2 倍である。ドイツはクレーン運輸設備製造業、鉄道運輸設備製造業において優位性を持っており、日本企業の累積投資総額のそれぞれ 4 倍、7 倍である。英国は化学工業設備製造業において優位性を持っており、日本企業の累積投資総額の 3 倍である。また、フランスの鉄道運輸設備製造業は対中投資額第一位で、日本の 7 倍余りである。
- ・ 日本と欧米企業の投資規模がほぼ互角の業界
機械化農機工業製造業や自動車製造業、自動車部品及び備品製造業、電子コンピュータ製造業、電子部品製造業などの業界に関し、日本は欧米 4 国による投資額の合計とほぼ同じである。

(2) 外国企業による対中投資の状況

上記の 28 分類に基づいて投資動向を調査した結果、全分野の合計では、2003 年における海外企業の機械産業への累計投資額では、香港が第 1 位で累積投資総額は 2,225 億 7,500 万ドルで全投資国総額 5,014 億 7,100 万ドルの 44.38% を占めている。2 位以下は次の順で、米国 (440 億 8,800 万ドル、8.79%)、日本 (413 億 9,400 万ドル、8.25%)、台湾 (364 億 8,700 万ドル)、バージン諸島 (301 億 6,500 万ドル)、シンガポール (235 億 3,100 万ドル)、韓国 (196 億 8,800 万ドル)、英国 (116 億 4,600 万ドル)、ドイツ (8 億 5,100 万ドル)、フランス (1 億 5,300 万ドル) となっている。2003 年末まで累積対中投資額のうち、上記の累積対中投資トップ 10 カ国の投資総額は、全投資総額の 88.65% を占めている。

香港からの投資が多い理由としては、香港が地理的に大陸から近く、同言語によりコミュニケーションが容易であることはもとより、中国が、香港や台湾系の企業に対して数多く優遇政策を提供していることが大きい。さらに台湾系企業が台湾当局の制限から、香港を通じて中国に投資しているため、このことも香港からの投資額を押し上げる大きな要因となっている。また、英領バージン諸島からの投資については、台湾企業は、台湾当局の対中投資制限措置を回避するため、また節税などの目的で、タックスヘイブンである同諸島を通じて、中国に投資しているケースがある。また中国から海外へ流出した資金の一部が、外資系企業に対する中国政府の優遇政策を得るために、同諸島を通じて大陸に流れるケースもある。

(3) 中国の機械製品、関連製品及び部品の輸出状況

本章では、外資からの投資を受けつつ成長する中国の機械産業が、どのような成長過程を辿っているかを明らかにするため、機械産業 28 分野の 2001 年から 2003 年までの輸出動向を、税関の統計データをもとに調査した。調査結果を総括すると以下のとおり。

中国輸出トップ製品は主にコンピュータ、プリンタ、スキャナ、NIC (ネットワークインターフェースカード) で、輸出総額は 410 億 2,000 万ドル、輸出相手国トップ 7 カ国は米国 123 億ドル、香港 75 億ドル、日本 53 億ドル、オランダ 42 億ドル、ドイツ 23 億ドル、フランス 19 億ドル、英国 8 億 2,700 万ドルの順となっている。

輸出第 2 位となったのはコードレス電話、コードレス基地局で、輸出総額は 115 億ドルで、輸出相手国は米国 35 億 3,000 万ドル、香港 22 億 2,000 万ドル、ドイツ 14 億 1,000 万ドル、オランダ 6 億ドル、ハンガリー 5 億 5,400 万ドル、日本 4 億 9,500 万ドル、シンガポール 3 億 6,300 万ドル、フランス 3 億 700 万ドルの順となっている。

輸出第 3 位となったのは液晶ディスプレイで輸出総額は 68 億ドルとなっている。

輸出額が比較的大きなその他の製品は有線電話、電報設備、有線基地局であるが、輸出額は 51 億 7,000 万ドルである。バルブなどその他の装置は 22 億 3,000 万ドル、空調は 29 億 4,800 万ドル、電動工具 21 億 5,000 万ドル、電動機・発電機は 24 億 3,000 万ドル、1,000 ボルト未満の電子回線スイッチ電圧は 20 億 9,000 万ドル、ダイオード、トランジスター等の半導体機器は 24 億 1,000 万ドル、集積回路及びマイクロ電子部品は 65 億 9,000 万ドル、電子管は 14 億ドル、複写機は 13 億 1,000 万ドル、液晶ディスプレイは 23 億 7,000 万ドルとなっている。2 億ドルを超えているその他の輸出製品は、内燃発動機が 3 億 5,300 万ドル、滑車及び昇降設備、ジャッキが 3 億 2,500 万ドル、クレーンが 5 億 3,500 万ドル、保冷設備が 9 億 6,300 万ドル、交換機が 2 億 1,500 万ドル、木材加工旋盤が 2 億 2,900 万ドル、ミシンが 6 億 3,500 万ドル、射出成型機、押出機が 3 億 2,500 万ドル、発電機ユニットが 2 億 8,100 万ドル、電動機、発電機部品が 4 億 1,400 万ドル、電器制御盤が 2 億 9,700 万ドル、生産用ガス、液圧、電子計測機器が 2 億 2,700 万ドル、計算機、切符販売機が 9 億 9,000 万ドル、事務用機器が 7 億 6,600 万ドル、カメラは 9 億 800 万ドルとなっている。

上記のデータから見ると、中国の輸出額が大きい製品は通信類や IT 類に集中している事が分かる。

以上